第4講　律令体制の衰退
PART4 摂関政治と外交

Chapter1　藤原氏の全盛

目標　藤原北家の政争の流れを知ろう。
天皇の外戚であることが有利だったのはなぜだろう？

1　藤原北家の全盛と摂関政治

①藤原北家による最後の他氏排斥事件

969年〔1　　　　　　〕

※**左大臣源高明**（醍醐源氏）が，
藤原北家と通じる源満仲（清和源氏）の讒言により，大宰権帥に左遷される。

※**以後は摂関常置が慣例**となる。

②藤原北家による摂政・関白の独占

他氏排斥完了後，一族内での「氏長者」争いを展開。

※兼通（兄）と**兼家**（弟），道隆（兄）と道兼（弟），
道長（叔父）と**伊周**（甥）の争いを経て，
藤原道長・頼通父子の〔2　　　　　　〕全盛期へ。

③摂関の立場

A　天皇の〔3　　　　〕→当時は妻問婚〔招婿婚〕

B　**天皇の政務を代行・補佐**→摂政・関白は太政大臣や左右大臣と兼任

C　律令官人としての収入＋寄進地系荘園からの収入があった

D　**官吏の任免権を掌握していた**ため成功による収入も莫大

④政治の運営→律令制の枠内で公私混同的政治を展開

A　重要政務は公卿が参加する内裏の左右近衛府の陣における「**陣定**」で決定

B　詔勅・宣旨・太政官符のほかに摂関家の下す政所下文・御教書なども政治的権力あり

C　**内政・外交ともに積極的政策はなく先例・儀式を重視**し年中行事が発達

D　個人・一族の栄達に執着して国政を軽視する傾向が強い

⑤結果

国政は形式的となり，国司に一任された地方政治は乱れ，武士団成長の要因となった。

2　藤原道長・頼通の栄華

①〔4　　　　　　　　〕〔御堂関白〕→内覧と摂政に就任

995 年　道長が一条天皇（甥）の内覧となる
※甥の伊周との政争に勝利し，左大臣に昇進。

1000 年　道長の娘**彰子が一条天皇の中宮**となる
※道隆の娘で伊周の妹の定子は皇后として並立。

1012 年　道長の娘**妍子が三条天皇の中宮**となる

1016 年　道長が後一条天皇（孫）の摂政となる
※翌年，摂政を子の頼通に譲り太政大臣に昇進。

1018 年　道長の娘**威子が後一条天皇天皇の中宮**となる
※**一家三立后**を達成し
「**この世をば我が世とぞ思ふ望月の欠けたることも無しと思へば**」と詠む。
のち嬉子も当時皇太子だった後朱雀天皇（孫）の妃となる。

1019 年　刀伊の入寇
※大宰権帥藤原隆家（伊周の弟）が地方武士を動員して撃退。

1020 年　平安京外に**法成寺**〔無量寿院〕を建立

1021 年　日記『〔5　　　　　　　　〕』

②〔6　　　　　　　　〕〔宇治関白〕→摂政と関白に就任

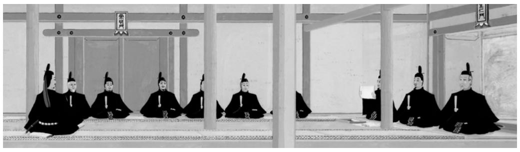
1028 年　平忠常の乱（～31 年）

1051 年　前九年合戦（～62 年）

1052 年　末法の始まり

1053 年　宇治に〔7　　　　　　　　〕を建立

1068 年　後冷泉天皇の関白を弟の教通に譲る



陣定

まとめ　藤原北家による他氏排斥事件は，842 年の承和の変に始まり
969 年の安和の変で終わり，その後は一族内の氏長者争いとなった。
当時は妻問婚の風習で，子は母の実家で育ったため外戚の価値があった。

Chapter２　東アジア情勢の変化

目標
10 世紀，日本から見て東アジア文化圏がどのように変化したかを知ろう。
菅原道真が遣唐使停止を献言したのはなぜだろう？

1　唐から宋へ

遣唐使は 838 年以来途絶えていたが，９世紀後半には民間貿易が盛んになり，
唐の商人が博多を経て大宰府に来航するようになっていた。
※日本にもたらされた書籍・陶磁器などの〔1　　　　〕は，貴族のあこがれであった。

894 年　遣唐大使**菅原道真の建議により宇多天皇が派遣を停止**
　※黄巣の乱などによる**唐の衰退，航海の危険**が名目。
　　朝廷の財政難，唐文化の十分な吸収と民間貿易の発達もあった。

907 年　唐の滅亡
　※この後，70 年以上にわたり
　　５王朝・10 あまりの国が興亡（＝**五代十国**）

960 年　趙匡胤による〔2　　　〕の建国

979 年　**宋〔北宋〕の中国統一**
　※日本は東アジアの動乱や冊封体制を避けて
　　正式な国交を開かなかったが，
　　宋船が博多に頻繁に来航し民間貿易は継続された。
　※日本人の渡航は禁止されていたが，10 世紀末の奝然，
　　11 世紀半ばの成尋など巡礼を目的とする僧は許されることもあった。

菅原道真

2　新羅から高麗へ

新羅使の来日がなくなった９世紀前半に民間貿易が盛んになり，
新羅の商人が頻繁に来航するようになっていた。
※日本では，九州に赴任したもと国司や地方豪族の郡司が海を越えて
　新羅との関係を深める事件が９世紀半ばに連続し，
　警戒した朝廷は新羅に対し排外的な政策をとるようになっていた。

918 年　王建が〔3　　　　〕を建国

935 年　**新羅の滅亡**

936 年　**高麗の朝鮮半島統一**

※日本と**国交は開かれなかった**が，商人などの往来はあった。

3　渤海から契丹〔遼〕へ

９世紀，交易が中心となっていた渤海からもたらされた蜂蜜・人参・毛皮・鷹の羽が，皇族・貴族に珍重された。また，宣明暦は貴族の日記に使われ，日本に定着した。

※ 10 世紀前半，モンゴル高原東南部を本拠とする〔4　　　　〕が強力な国家を建て，**渤海は 926 年に滅亡**した。契丹は北方民族として中国内地をも支配した最初の国家で，中国風の**遼**という国名を用いることもあったが，日本との**国交は開かれず商人などの往来もなかった。**

※ **1019 年**，契丹〔遼〕の支配を受けていた沿海州・朝鮮半島北東部の**女真〔刀伊〕**の一部が九州北部に来襲し，大宰権帥**藤原隆家**が率いる地方武士団が撃退した（＝〔5　　　　　　　　〕）。

11 世紀ごろの東アジア

まとめ

10 世紀前半に唐・新羅・渤海は滅亡し，
日本は新たな国々と国交を結ばなかった。
菅原道真は，衰退した唐に危険を冒してまで渡航することはないと考え，
宇多天皇に遣唐使の停止を建議した。

第 4 講　PART 4　確認問題

1 左大臣源高明が，大宰権帥に左遷された出来事を何というか。

① 昌泰の変　② 薬子の変
③ 承和の変　④ 安和の変

2 藤原道長の甥はだれか。

① 藤原兼家　② 藤原道隆
③ 藤原道兼　④ 藤原伊周

3 藤原道長の娘威子は何天皇の中宮となったか。

① 後朱雀天皇　② 一条天皇
③ 後一条天皇　④ 三条天皇

4 藤原道長が平安京外に建立したのはどれか。

① 平等院鳳凰堂　② 法成寺
③ 薬師寺　④ 醍醐寺

5 894 年，菅原道真の建議により遣唐使の派遣を中止した天皇はだれか。

① 宇多天皇　② 後冷泉天皇
③ 嵯峨天皇　④ 醍醐天皇

6 唐の滅亡後，五代十国を経て，中国を統一した国はどれか。

① 金　② 宋
③ 元　④ 遼

7 10世紀初めに朝鮮半島を統一した国はどこか。

① 新羅　② 高句麗
③ 高麗　④ 渤海

8 地方武士団を率いて女真を撃退した大宰権帥はだれか。

① 藤原隆家　② 藤原兼家
③ 藤原道隆　④ 藤原兼通

第 4 講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：④

左大臣の**源高明**（醍醐源氏）は，藤原北家と通じる源満仲（清和源氏）の讒言により，大宰権帥に左遷された。

2 解答：④

藤原道長は甥の**伊周**との政争に勝利し，996 年に左大臣に昇進した。

3 解答：③

②の**一条天皇**の中宮となったのは**彰子**，④の**三条天皇**の中宮となったのは**妍子**である。

4 解答：②

法成寺は阿弥陀堂が建立された当初は無量寿院と名づけられた。①の**平等院鳳凰堂**は**藤原頼通**が建立した。

5 解答：①

遣唐使は，黄巣の乱などによる唐の衰退，航海の危険を理由として停止された。

6 解答：②

宋〔北宋〕は趙匡胤によって建てられた。④の**遼**は，10 世紀前半，モンゴル高原南東部を本拠として建てられた**契丹**の中国風の国名である。

7 解答：③

高麗は王建が 918 年に建てた国で，936 年に朝鮮半島を統一した。

8 解答：①

藤原隆家が，地方武士団を率いて**女真〔刀伊〕**を撃退した出来事を**刀伊の入寇**という。